

浦 道 第 1 6 6 号

平成20年11月7日

国土交通省道路局長 様

浦安市長 松崎 秀樹



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で照会のありましたこのことについては、別紙のとおりです。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

○小規模な道路整備に対する補助制度について

本市は、計画的に道路整備が進められその整備もほぼ完了している臨海地域(新町・中町地域)と旧来から市街化しており、狭あい道路や比較的幅員の狭い道路が多い旧市街地(元町地域)とから成立っているため、その道路形状や幅員に大きな差異がありますが、旧市街地の抜本的な道路改良・改修には用地買収が必要となることから早期実現が困難な状況です。

また、道路局所管の国庫補助事業の採択基準が、地区を対象とした統合補助制度となっており、近年、道路の段差解消や点字ブロックの設置などについては補助採択の範囲が広がってきているものの、基本的には国庫補助事業の採択基準が、地区を対象とした統合補助制度となっており、個々の路線ごとの整備では採択されないのが実情です。

このようなことから、地区の実情に応じた路線ごとの整備でも採択される制度に改善されるよう要望いたします。

○国道の維持管理について

本市においても他市と同様に景観や環境、安全に対し高い意識を持った市民が多く、道路に対しても様々なご意見やご指摘をいただいているところです。その中で、国道部分にあっては、浦安インターや歩道橋の維持管理に対するご指摘となっています。

主な内容としては、浦安インターでは、除草・剪定やインター内に存するホームレスについて通行上の不便や不安を感じるとの声が多く、雑草の予防措置や除草・剪定の回数増加やホームレスの排除が強く求められています。

また、歩道橋については、タイル・舗装等の補修や自転車走行の防止について危険や通行上の不便を感じるとの声が多く、点検の強化や自転車走行の防止あるいは自転車と歩行者との分離が求められています。

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

本市の元町地区は区域内に多数の狭あい道路のある密集した市街地である。このため、道路をはじめとした市街地の再整備が必要である。

中町・新町地区では、第2湾岸道路が予定されている。

○課題

- ・道路整備による避難路の確保
- ・未接道宅地の解消
- ・道路のみの改良の場合、道路構造令を満足できない恐れがあり改良実施が困難
- ・第2湾岸道路の計画により沿道及び周辺地域に少なからず何らかの影響が予想される。